

台風 18 号が八重山地方に襲来 衛星電話を活用し情報連携

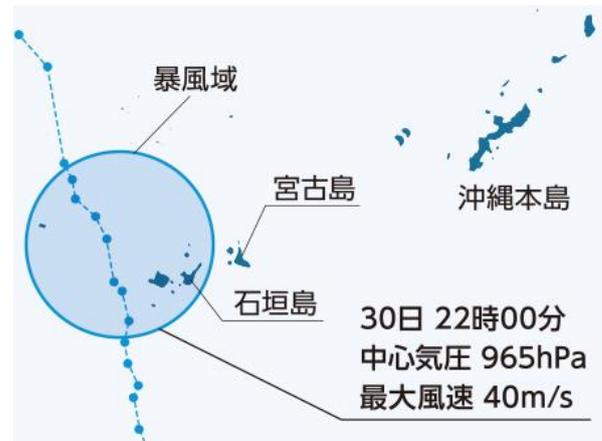
9月30日(月)、台風18号が八重山地方に襲来し、当社設備に被害をもたらしました。

通信事業者の通信が不具合となる中、自社で保有する衛星電話で情報伝達を図るなど、当社、関係会社、電気工事会社(協力会社)の職員総動員で早期復旧を目指し、昼夜継続して作業を行いました。

●台風18号の経路および特徴

9月28日(土)9時にフィリピンの東で発生した台風18号は、発達を続けながら、沖縄の南で次第に進路を北に変え、30日(月)12時には大型で強い台風となり、同日21時には与那国島付近を通過しました。

石垣島地方が30日(月)16時頃から約9時間、与那国島地方が30日(月)17時頃から約9時間暴風域に入り、最大瞬間風速は石垣島で43.2m/s(30日19:23)、与那国島で42.2m/s(30日18:39)を観測しました。



●設備被害状況

発電：被害なし

送電：被害なし

変電：被害なし

配電：電柱破損(折損・倒壊)	1本
電線断線(高圧)	2条・スパン
電線断線(低圧)	2条・スパン
柱上変圧器破損	2台
高圧バインド、碍子破損	60箇所

最大停電戸数：2,500戸(10/1 02:00)

※波照間除く

●復旧要員派遣

事前派遣

- ①各支店から周辺離島へ 21名
- ②沖縄本島から宮古支店・八重支店へ 28名

事後派遣

- ①沖縄本島から八重山支店へ 1名

●衛星電話の活用

今回、通信事業者の通信機器故障により通信が途絶え、一時、本部(本島)・八重山支部間の連携や停電情報等の把握が出来ない状態となりました。そのため、八重山支店に設置している衛星電話を活用して情報を連携し、大きな混乱をきたすことなく、停電情報の発信及び復旧作業に取り組むことができました。